

授業科目 解剖学 I

【担当教員名】 鈴木 了、山田 まりえ		対象学年 1	対象学科 言語		
		開講時期 前期	必修・選択 必修		
		単位数 2	時間数 30		
【<概要>又は<一般目標：G I O>】 解剖学 I では、人体の基本的構造を全体的に理解し、特に発声発語器官である口腔・鼻腔・咽頭・喉頭について、及び聴覚器官である外耳・中耳・内耳についてそれぞれの構造と機能を理解する。さらに言語と聴覚に関する中枢神経系と末梢神経系を理解する。また、頭蓋・顔面部の発生の概略を理解し、口腔・顎顔面部の先天異常の発生を考察する。					
【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】 1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。 2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を概説できる。 3. 主な骨、骨格筋の名称、位置を説明できる。 4. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を説明できる。 5. 消化器系の諸器官、その付属器の名称、位置を説明し、その働きを概説できる。 6. 呼吸器系、泌尿生殖器系を後制する器官の名称、位置を説明出来る。 7. 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭を構成する各部位の名称と機能を説明できる。 8. 外耳・中耳・内耳の構造と機能を説明できる。 9. 口腔・顎顔面部の発生の概略を理解し、説明できる。 10. 摂食・嚥下について解剖学的に説明できる。 11. 中枢神経系、末梢神経系の構成を概説できる。 12. 聴覚伝導路をコルチ器から大脳皮質まで順にたどることができる。					
回数	授業計画又は学習の主題		SBO		
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員	
1	解剖学序論	解剖学とは 組織学総論 細胞と四大組織	1, 2 講義		
2	骨格系	骨の構造と種類 骨の連結	3 "		
3	筋系	筋の構造と種類 主な骨格筋	3 "		
4	循環器系	血管とは 心臓 大循環と小循環	4 "		
5	内臓系 1	消化器系 呼吸器系	5 "		
6	内臓系 2	泌尿生殖器系 内分泌系	6 "		
7	感覚器と神経系	感覚器と神経系のあらし	11 "		
8	発声発語器官 1	口腔、鼻腔、咽頭	7, 10 "		
9	発声発語器官 2	喉頭	7 "		
10	平衡聴覚器 1	外耳と中耳	8 "		
11	平衡聴覚器 2	内耳	8 "		
12	ヒトの発生	頭頸部、顎顔面部の発生	9 "		
13	神経系 1	末梢神経系と中枢神経系	11 "		
14	神経系 2	知覚の伝導路	12 "		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書		入門人体解剖学	藤田恒夫	南江堂	2000年 5000円
参考書					
その他の資料		プリントの配布			
【評価方法】 出席状況・態度、期末試験の総合評価		【履修上の留意点】 短期間で広範囲の内容を勉強します。欠席をせず、復習をすることが重要です。			